

1月30日(火)

懲らしめられた預言者

聖書朗読 ヨナ書 4:4~11

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。 ローマ12:15

ヨナ書は、あまりにも人間らしい多くのもの、例えば臆病さ、プライド、そして怒りを表した、ひとりの人間を描き出しています。私たちにとって、ヨナの反応を自分に結び付けることは簡単です。使命を成し遂げることを恐れ、自らの責任から身を隠そうとし、その使命を果たすように強いられてからようやく自分の非を認め、そして期待していた復讐が憐れみによって中止されると怒るとというのが、ヨナの反応でした。

ヨナ書を読んでいく中で、私たちは神様がニネベの罪深い人々に関心を寄せているだけでなく、罪深いヨナをも心配してくださっていることが分かります。神様は自然界を通じてヨナに教えます。学ぶ必要のある教えをヨナに深く悟らせるように、神様は嵐を、魚を、とうごまを、虫を用いられました。

神様がヨナに与えられた最後の教えは、他の人々を思いやる必要があるということでした。滅亡を説くだけでは十分ではないのです。正しい怒りは、罪人たちを理解し愛することによって宥(なだ)められ、彼らが悔い改める時、喜びに替わります。

新聖歌 488

祈り 私たちの憐れみ深い神様、自分たちの周りにある勇気、弱さ、正直さ、共感、愛に関する教えを理解できるように、私たちを助けてください。
イエス様の御名により。アーメン。

コロラド州 デンヴァー
キャロライン・ハンター

1月31日(水)

神様は歌う！

聖書朗読 ゼパニヤ書 3:17

あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎを与える。主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。
ゼパニヤ 3:17

二千年以上前に書かれたにも関わらず、神様がゼパニヤを通じて与えられた約束は、まるで今朝、書かれたかのように新鮮なものです！

神様は、私たちと共にいてくださり、神様だけが救ってくださるお方であると約束されます。神様は、謙虚に神様に従って生きるご自身の民を喜ばれると言われます。神様はご自身の愛によってあなたに安らぎを与え、あなたのことを喜ばれると約束されます！

私たちに対するご自身の喜びを神様は歌によって表して下さいます。私たちが罪を犯すと悲しまれるように、神様は私たちが立ち返る時に喜ばれるのです。神の民が忠実に従うとき、神様は歌われるのです！神様は私たちを、他の誰にもできないほどに愛しておられます。私たちは神様に知られており、そして完全に愛されているという事実を信頼してよいのです！

神様の御声を聞くことができたなら
あなたは主が喜ばれるのを聞くだらう
あなたのことを喜んで歌うのを

— デイヴィッド・ハンプトン

讃美歌 主イエスの愛で Power of Love

祈り お父様、私たちの罪があなたを悲しませるとき、私たちを赦してください。私の望みは、あなたに喜びをもたらし、あなたが毎日、歌いたくなるように生きることです。イエス様の御名により。アーメン。

テネシー州 フランクリン
アンディ・ベーカー

2月1日(木)

怒りの神と恵みの神

聖書朗読 ゼパニヤ書 3:14~20

主は、…あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

ペテロⅡ 3:9

旧約聖書は、疑うことを知らない人間に対して、怒る神が激しい天罰を下す物語であると言われることがあります。しかし、それは、人間がいかに神様に逆らいあらゆる悪を行なったかという歴史を見落としてしまっているのです。

創世記3章から聖書全体を通して、神様が創造して下さった最高の被造物である人間がいかに日常的に罪をおかしてしまうかが描かれています。人間があらゆる恵みを与えられているにもかかわらず、どうしようもない罪を犯し続けました。そして、神様は、人がどんなに大きな重い罪を犯しても、どうかして恵みを与え続けよう、救いに導こうと考えて下さっています。神様は裁きを下されましたが、私たちを救おうとする希望を決してお捨てになりませんでした。

ゼパニヤは、神様が『すべてのものを取り除く』(1:2)と宣告しました。預言者ゼパニヤは、『主の日』とは神の民への神の怒りと裁きの日となるであろうと告げました。しかし最後には、神様の罰がいかに厳しいものであっても、民の罪がいかに大きくても、神様は『へりくだった…ただ主の御名に身を避ける』(3:12) 寄るべのない民を救うと約束されました。つまり、主なる愛の神様は、たとえ人々がどんなに罪を犯しても主の前にへりくだり悔い改めるなら赦して下さるのです。人は罪人であり、神様のめぐみに値しない存在にも関わらず、神は赦して下さる。ですから人は神様の救いを喜ぶのです。(3:14~20) 私たちの世界は今も悪に満ちています。しかし、神様は何とかして主の愛に立ち返る全ての人々を救おうと、今も模索し続けておられます。

讃美歌 87B

祈り 親愛なる天のお父様、恵みによって、罪深い人間を忍耐深く、救おうとして下さった物語を感謝します。私たちがあなたの愛の深さに気づき、従って行けますように助けて下さい。イエス様の御名によって。アーメン。

カンザス州 オレイサ / リチャード・ウルフ

2月2日(金)

しっかりした妻

聖書朗読 マラキ書 2:12~16

麗しさはいつわり。美しさはむなしい。しかし、主を恐れる女はほめたたえられる。

箴言31:30

私たちは自分が持っているあらゆるものを当たり前のように思っています。しかし、それがなくなって、初めて当たり前ではないと気付きます。スイッチを押せば灯りが点きますし、リモコンを押せばエアコンは家の中を涼しくしてくれます。電子機器はクリック一つで作動します。ですから、あらゆるものを当たり前だと考えがちです。

もしあなたにクリスチャンの配偶者がいるとして、あなたはそれを当たり前だと思っていますか。それがあなたにとって、どれほど素晴らしい恵みであるかを忘れてしまっていないでしょう。あなたの妻や夫が子どもたちに、主の愛を伝えてきたことを、当然なことだと思いませんか。また、あなたの妻や夫があなたと分かち合ってくれる信仰や神様との交わりの喜びについて、十分感謝をしているでしょうか。私たちはお願いはしますが感謝することは忘れがちです。

私たちは、いとも簡単に結婚や家庭が崩壊するこの世的な社会に生きています。あなたが神様を信じる方と結婚しているなら、立ち止まって主に感謝しましょう。妻や夫は主からあなたへの贈り物です。今日、時間を取って、彼らに感謝しましょう。妻や夫に感謝することを忘れてはなりません。感謝のことばは言い過ぎるということはないのです。あらゆることは当たり前ではありません。主からの素晴らしい贈り物を絶えず感謝して行きましょう。

讃美歌 Ⅱ171

祈り 神様、私たちが人生で出会う人々という良い贈り物について、決して当たり前だと思わないように助けてください。人生の旅路で私たちを助け、良い時も悪い時も手をつないでくれる、神にある配偶者を感謝します。イエス様の御名によって。アーメン。

サウスカロライナ州 コロンビア / マーク・ヤング

2月3日(土)

神が語られる時

聖書朗読 マタイの福音書 3:7~17

神は、おかしな父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。

ヘブル 1:1~2

イエス様を神の御子であり王であると明らかにする証人には数人の方がいました。そのうちの一人は、イエス様の道を備えられたバプテスマのヨハネです。神様からヨハネに与えられたメッセージは、悔い改めのメッセージでした。イスラエルは悔い改める必要があり、悔い改めることによってキリストへの道が備えられるのです。

もう一人の証人は、鳩のように下った神の御霊です。聖霊はイエス様に、聖霊がいつも共に働いてくださることを保証しました。『神がお遣わしになった方は、神のことは話される。神が御霊を無限に与えられるからである。』(ヨハネ3:34)

父なる神ご自身も証人として、『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。』(マタイ3:17)と言われました。

神様が語られる時、私たちは聞かなければなりません！ イスラエルの歴史は、神様の御言葉に対して頑なになったり背いたりする行動が災いに終わることを証明しています。神様は今日、御子を通じて語りかけ、人生において神と神の国とを第一にせよと言われます。あなたは聴いていますか。

讃美歌 神の国と神の義を

祈り 親愛なる主よ、私たちの心を開き、私たちがあなたの御言葉を受け取り従うことができるようにしてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 サイプレス
デイル・フォスター

2月4日(日)

神様の召しに答える

聖書朗読 マタイ 4:18~22

イエスは・・・「わたしについて来なさい。」と言われた。するとレビは、何もかも捨て、立ち上がってイエスに従った。 ルカの福音書 5:27~28

イエス様に呼ばれた時、何もかも捨てて従う動機は何でしょうか。

- ・アンデレは、一日イエス様と共に過ごした結果、イエス様について行く決断をしました。(ヨハネ1:35~42)
- ・サマリヤの女にとっては、初めて会ったのに、イエス様が自分について何もかも知っていたことが動機になりました。(ヨハネ4:1~29)
- ・ペテロは、奇跡的な大漁を目撃して、何もかも捨てて、イエス様に従いました。(ルカ5:1~11)
- ・マグダラのマリヤは、七つの悪霊を追い出していただいて、人生を悪霊の力と支配から解放してもらって、イエス様に付き従いました。(ルカ8:7)

これらの人たちは、従うべきラビ(訳して言えば、先生)を求めている“宗教的”指導者ではありませんでした。彼らは、私たちと同様、現実的問題にもがいている普通の人々でした。彼らが惹きつけられたのは、富や名声や権力を約束されたからではありませんでした。彼らはイエス様の中に新しい人生の希望を見出し、そのために、古い罪深い生き方を捨て去り、新しい永遠の未来へとイエス様に従って行くことを決意したのです。

今日、イエス様に従う者であるとはどういうことなのかを考えてみましょう。私たちは神様の召しにどのように答えますか。

讃美歌 II 173

祈り 主よ、古い生き方を捨て去り、あなたにある平和と希望の新しい人生を受け入れる第一歩を踏み出す勇気を与えてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 グランベリー
ジャン・ノックス